



戸建住宅やマンション、店舗など、様々な建物のリノベーション・リフォームを手掛ける『イザワリノベーション』。新たにドローンによる「赤外線建物診断」も導入し、より確実で安心な提案ができる体制を整えた。そんな同社を経営する井澤代表は、一人の少年との出会いを機に起業を果たしたという。松尾伴内氏が代表にお話を伺った。

イザワリノベーション 合同会社

秋田県秋田市飯島西袋 2-9-5

URL : <https://www.akita-irio.com>



代表
井澤 直行

リノベーション+ドローンで 社会に貢献し、人生を生き抜く

——井澤代表はこれまで幅広いお仕事を経験されてきたそうですね。

ええ。元々は調理師をしており、伊豆の旅館で修業した後、沼津で自分の店を構えていました。その後もトラック運転手など、様々な仕事を経験しましたね。そんな中で最終的には建設業界に辿り着き、勤務時代は東京や横浜などの大規模な建物にも携わっていました。父が大工をしていましたし、私も物を作ることが好きで、建設業は性に合っていたのかなと思います。

——様々な経験を積まれてきた中で、起業に至った経緯は？

会社勤めをしていたある時、私は中咽頭痛を患いまして……。会社を辞めて長期入院することになり、一時期はステージ4まで進んで、命を諦めたこともあったんですよ。そんな中、大きな転機となったのは同じ病院に入院していた小学1年生の男の子との出会いでした。病院で会うと時々話をするようになったのですが、彼は会う度に明るい笑顔で「絶対大丈夫だから」と私に声を掛けてくれたん

です。その言葉に勇気づけられ、「頑張ってみよう」と前向きに考えられるようになり、そこから病状も徐々に良くなっていきました。彼は末期の小児癌で、私の手術中に亡くなったのですが、今でも私の中には彼がいるんです。彼の分まで人生をやり遂げたいと思ったことが、起業を決断できた大きな理由でした。

——その子がいたから今の代表がある。人生には本当に不思議なご縁や巡り合わせがあるものですね。

そうですね。入院中にはたくさん時間があり、その中で当時秋田にはなかった「リノベーション」についても学びました。退院後には私のもとにリフォームの依頼が数件来て、それなら自分でリノベーションをしてみようと、生まれ故郷の秋田でこの会社を作ったんです。そこから次第に人とのつながりで仕事が増えていき、もう起業から5年弱。様々なご縁に助けられて、今があります。

——現在はこちらにもあるドローンを使った「建物診断」も行われているとか。

ええ。リフォームやリノベーションは全国的にトラブルが多い業種なんです。どうすればトラブルをなくせるかと考えた時に、お客様がご自身の目で確認できることが一番だと思ったのです。そうして色々調べ、赤外線建物診断やドローン建物診断に辿り着きました。病院ではレントゲンを元に話をするように、我々も撮影した画像を元に提案していけ

ば、お客様も納得して下さってトラブルもなくせる。そう思ってすぐに資格を取り、ドローンを購入しました。

——この辺りで建物診断を行っている会社は他にもあるものなのですか。

全国にはありますが、今のところ秋田にはほとんどないと思います。ドローンは車1台ぐらいの価格なので、それも理由かもしれませんが、それでも私はこれがお客様のために必要だと思って、何とか資金を工面してドローンを導入しました。実際にお客様もこのやり方なら安心して下さるようで、反応は良いですね。

——特に高所はどのような状態にあるかわかりませんから、撮影した画像は確かな根拠になりますよね。では最後に、今後の目標をお聞かせ下さい。

これまでは戸建住宅のお客様が中心でしたが、今後は企業様や公共事業、災害支援も含め、様々な形で地域や社会に貢献していきたいです。正しい修理や保全で、これからも建物を見守っていきます。

(2020年12月取材)

「少年との出会いから始まった井澤代表の挑戦。少年の分まで、ご自身が社会に何かを残そうとする姿に心から感動しました。今後さらなるご活躍を応援しております」



interviewer
松尾 伴内